## 5 デザインイメージ



高倉塩小路より



塩小路通から音楽ホール兼講堂のある3階へ,スムーズにアクセスできる大階段を設けて, キャンパス内に人の流れをつくります。



河原町塩小路より



ギャラリー@KCUA(アクア)や芸術資料館を1階に配置し、塩小路通沿いにおいて大学の芸術活動を発信すると共に、京都駅から東山へ至る動線の魅力向上を図ります。



鴨川より



鴨川に沿って流れるように屋根をかけ、銅駝美工と京都芸大を一体感のあるデザインとします。また、キャンパスと鴨川がつながるようにデザインし、自然に親しみながら創作活動ができるようにします。



高瀬川をのぞむ



高瀬川沿いは、屋外スペースや高瀬川も活用しながら、柳原銀行記念資料館や地域と連携 した創作活動が行われるような親水空間をつくっていきます。 また、制作中の作品や創作活動が外から見えるような、開放的なデザインとします。



C地区3階テラスより



キャンパスを南北に貫く大通り(芸大通)や、中高層階の大きなテラスが芸術活動の場になるとともに、芸大を訪れる人々と芸大生の交流の場となり、都市の中の大学の新しいあり方を表現していきます。



塩小路橋より(銅駝美工をのぞむ)



全国屈指の美術専門高校である「銅駝美術工芸高校」を移転します。鴨川に面し、京都の四季折々の風情を感じることができる恵まれた環境のもと、生徒たちは日々、勉学や創作活動に励みます。



大学図書館



図書館の吹抜けに面して講義室などを配置し、図書館から講義室の授業風景が見えたり、講義室から図書館が眺められるようにします。 また4階には、図書館と一体となったラーニングスペースを設けます。



音楽ホール兼講堂



クラシック演奏会やオペラの他、幅広い演目に対応可能な約800席の音楽ホールを整備します。